

# 2017/07/15 日和佐うみがめトライアスロン 参戦記

宿院 雅広

毎年7月の恒例大会となり今年で9年連続となりました。過去の参戦状況は、

2009年(45)	2時間45分08秒	105/512
2010年(46)	2時間36分45秒	45/525
2012年(48)	2時間37分56秒	62/536
2013年(49)	2時間33分02秒	20/546
2014年(50)	2時間37分55秒	72/570
2015年(51)	2時間36分17秒	48/529
2016年(52)	2時間33分41秒	43/561
2017年(53)	2時間36分10秒	56/529



気象条件によってタイムは大きく変わりますが、49歳のときがピークで、その後少しずつ下降気味ながら、何とか持ちこたえてるってことがわかります。

私の年齢よりも上の方でまだまだ早い方がおられますので、来年の10年目は2時間30分切りで20位以内を目指してみようかと。そのためにはまた禁酒かな(笑)

さて私にとってこの大会は、真夏の暑い時期に、太平洋の大きなうねりのある海を泳ぎ、アップダウンのきついバイクコースを攻め、日陰のないランコースを走り、どこまで自分を追い込んでいけるのかを測る指標となっています。

そこに魅力を感じるのと同時に、日和佐うみがめ祭りの中でトライアスロン大会を中心に据え、前日には花火大会あり、夜店ありと街をあげて選手を迎え入れてくれるところもまた大きな魅力となっています。

ランコースでは、あのカーブを曲がると、きっと椅子に座ったおじいちゃんとおばあちゃんがいるはずという期待を裏切らずに毎年同じ場所を陣取って手を振ってくれる老人ホームの人たち、川の水を汲んで目いっぱいバケツで水をかけてくれる女子中学生たち、ホースで水をかけてくれる近所のおじさんたちと毎年見られる光景も楽しみのひとつとなっています。

と前置きが長くなってしまいましたがレース報告です。

今年は事前に7人が参戦することがわかっていましたので、10人乗りのレンタカーを借りました。2台に分乗して行くよりは、大勢でワイワイと賑やかに行った方が楽しいだろうとのことで、結果は大正解。レースというよりは、遠足気分であっちゃん楽しめました。

あれ？またまた脱線してしまいました(笑)

## ○前日受付から下見まで

お約束のひわさ屋でランチを食べて受付後にコースの下見に。しげちゃんとすなおは初めてのコースなので入念にチェックを。まっさんはビールを飲んですぐに寝てしまいました。天気は快晴。明日は暑くなりそうです。

## ○レース前

朝5時に起きて朝食を済ませ、さあ会場へ。そこでノブルがサプライズ登場！みんなエーっ、とか、オーっとか言ってびっくり。私は事前にこっそり聞いていたのでしてやったり。ノブル、遠路はるばる札幌から駆けつけてくれてありがとね。



## ○スイム

さあいよいよすなおのデビュー戦が始まります。緊張しているようですが、スタートしてしまえば、そんなことは忘れて無我夢中になるはず。何とかいいパフォーマンスを発揮して完走してくれよと願います。

私はというと、ともかくバトルに巻き込まれずに自分のペースで泳ぐことを目指します。途中クラゲがたくさんいて、よく言えば幻想的、悪く言えば…な感じでしたが、いつもに比べてうねりもなく快適に泳げました。てことで、もう少し攻められたかなと反省。

## ○バイク

3km過ぎに2分前にスタートしたすなおを発見。お一頑張ってるやん。その後はアップダウンを楽しみながらも苦しみながら進みます。うーん、どうも今一つ攻めきれない。調子がいいときにはガンガン踏んでいたことを感覚が覚えているので、このペースではいつもより数分は遅い感じがします。終わってみればやっぱり少し遅い。練習不足は否めません。また朝練將軍塚を復活させねば！

## ○ラン

毎年のことながら日差しがきつい！スタート直後のエイドから水をかぶり氷で体を冷やします。老人ホームのおじいちゃん、おばあちゃん、水をかけてくれる女子中学生…、いつもとかわらない光景に走れる喜びを感じます。日陰のないこのコース、なぜか大好きです。

折り返してからすぐすなおとすれ違えます。おっ速いやん。そのすぐあとを走る小島さんは、すなおを抜いたあと迫ってくるはずですから気を抜けません。しかし石垣大会に続いてすぐ後ろに小島さんがいると思うと、追いかけるのは精神衛生上あまりよくないものです(笑)

もう少し早く走れるけど、今回は楽しむことを優先させてのラン。タイムを気にするというよりは、気持ちよく走ることを心掛け、どれくらいで走り切れるのかを試しました。その先には9月のチャンピオンシップがあるためです。ここで去年みたいな轍を踏まないためにはどんな走りをすればいいのかを考えていました。結果は気持ちよくフィニッシュ。全力疾走で余力を残さないのがモットーですが、今回は心底リラックスして楽しめました。

記録も大事ですが、記録は二の次にするレースもたまにはいいものです。と言いながら、冒頭は過去の記録にこだわった書き出しでしたが(笑)

## ○最後に

同行のみなさん、たのしい2日間をありがとうございました。大人数でワイワイ行くのはとっても楽しいですね。トライアスロンは個人競技ですが、団体競技の要素も大きく感じるのは、そんなところを求めるからなのかもしれません。

すなお、いいデビュー戦になったかな。十数年前の今はなき七尾湾岸トライアスロンでのデビュー戦を思い出し、少し謙虚になった日和佐大会でした。